

2013年8月期 通期決算説明会資料

株式会社 コネクトホールディングス
<http://www.connect-hd.co.jp/>

コネクトホールディングスグループの概要



<http://www.connect-hd.co.jp/>

本 社 東京都港区六本木六丁目1番24号
事業目的 純粋持株会社として、グループ各社の経営管理及び経営指導
役 員 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) 長倉 統己
取締役 関本敏之
社外取締役 佐藤辰夫
監査役 大森 勲
監査役 水品 靖芳 (税理士)
監査役 大松澤 清隆

SBY

<http://www.sby.co.jp/>

<http://shop.sby.co.jp/>

株式会社S B Y (100%子会社)
本 社 東京都港区六本木六丁目1番24号
事業目的 ビジネス・アライアンス事業、コンセプトマーケティングショップ事業
役 員 代表取締役会長 長倉 統己
取締役社長 関本敏之
取締役 清水厚芳 水野明男 矢野浩司
社外取締役 榎園利浩 (弁護士)
監査役 石野征人 (税理士)

大株主の状況と沿革

◆大株主の状況

氏名又は名称	住所	所有株式数（株）	所有割合（％）
株式会社エスアンドピー	愛知県名古屋市名東区	31,385,500	58.28
株式会社プラティア	東京都港区	2,000,000	3.71
堀口利美	東京都港区	1,065,600	1.97
水口雅之	石川県金沢市	1,060,400	1.96
桑野博一	大阪府豊中市	712,100	1.32
楽天証券株式会社	東京都品川区	622,900	1.15
西谷茂樹	千葉県市川市	573,300	1.06
矢吹 満	東京都目黒区	454,500	0.84
山内和男	愛知県名古屋市西区	366,000	0.67
前田 司	兵庫県たつの市	300,000	0.55

◆沿革

<p>■ (株)コネクトテクノロジーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成12年5月 東京都南青山5丁目13番3号に資本金2000万円をもって設立 平成16年3月 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場
<p>■ (株)コネクトホールディングス</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月 (株)コネクトホールディングス設立 平成23年3月 (株)コネクトテクノロジーズからの株式移転により、東証マザーズへ新規上場 平成23年3月 (株)S B Yを子会社化 平成23年4月 東京都港区六本木六丁目1番24号に本社及びグループ会社移転 平成23年6月 (株)ガットを子会社化 平成24年3月 (株)ガットと(株)S B Yを合併 平成24年9月 (株)コネクトテクノロジーズを株式譲渡により連結から除外

2013年8月期連結決算ハイライト

連結売上高	1,456 百万円	(前期比 ▲386百万円 ▲21.0%)
連結営業利益	40 百万円	(前期比 +169百万円 -%)
連結経常利益	27 百万円	(前期比 +107百万円 -%)
連結当期純利益	42 百万円	(前期比 +223百万円 -%)

事業の再構築を経て、SBY社を事業子会社の中核と位置づけることにより、当社の前身企業であるコネクトテクノロジーズの平成16年8月期以来の黒字決算を達成。

2013年8月期 通期業績概況（連結）

【単位：千円】

	2012年8月期	2013年8月期	前期比	
			金額	増減率
売上高	1,842,704	1,456,089	▲ 386,615	▲ 21.0%
売上原価	822,825	650,063	▲ 172,762	▲ 21.0%
売上総利益	1,019,878	806,026	▲ 213,852	▲ 21.0%
(利益率)	55.3%	55.4%		
販管費	1,149,453	765,922	▲ 383,531	▲ 33.4%
営業利益	▲ 129,575	40,104	169,679	—
(利益率)	—	2.8%		
経常利益	▲ 80,622	27,334	107,956	—
(利益率)	—	1.9%		
当期純利益	▲ 183,978	42,069	226,048	—
(利益率)	—	2.9%		

・コネクトテクノロジーズ社等、不採算事業からの撤退に伴う減収

・コネクトテクノロジーズ社等、不採算事業からの撤退に伴う販管費の減少。
・コネクトHDの経費削減施策に伴う販管費減少

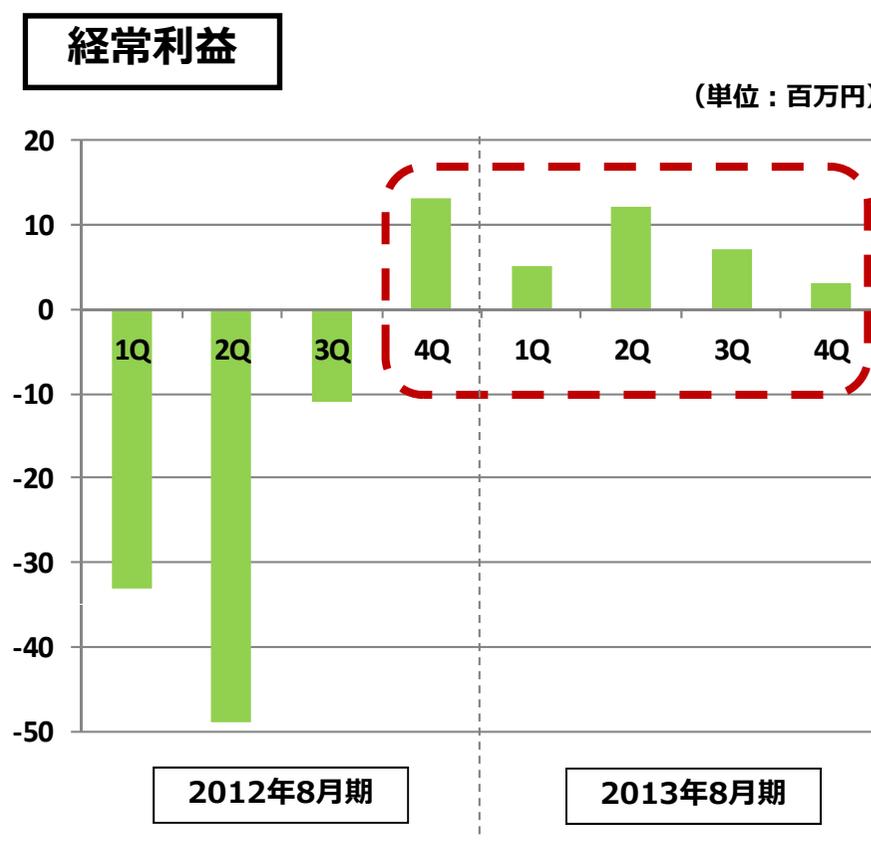
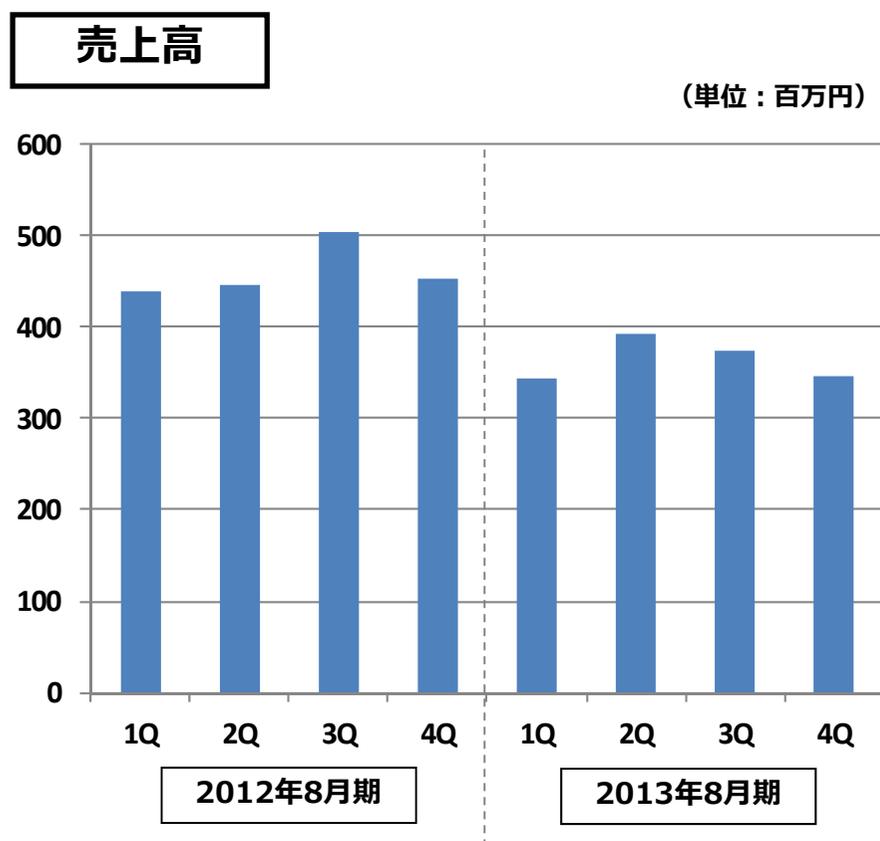
・営業外費用の発生
新株予約権の発行に係る支払手数料：16百万円

・特別利益
関係会社株式売却益：23百万円
・特別損失
事務所移転費用：13百万円
事務所移転に伴う減損損失：8百万円

・固定資産除却損及び投資有価証券評価損を計上

連結売上高・経常利益四半期推移

前第4四半期より、経常黒字を継続的に確保



「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消

コネクトテクノロジーズ第9期（平成20年8月期）からコネクトホールディングス第2期（平成24年8月期）まで、継続企業の前提に関する注記が存在していたが、平成24年8月期の第4四半期連結会計期間における営業損益は大幅に改善。

継続企業の前提に関する注記解消

平成25年8月期は、経営体制の変更及び事業の再構築により、当社の前身企業であるコネクトテクノロジーズの平成16年8月期（コネクトテクノロジーズ 第5期）以来の黒字決算を達成し、収益基盤が安定。

経常利益も、前第4四半期連結会計期間及び当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から第4四半期会計期間と連続して黒字を達成。

既に実施している施策の効果が現れていることに加え、手元資金も十分確保されており資金繰りの目処も立つことから、現時点で継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しないものと判断。

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消

今後も収益力の強化と財務基盤の改善に取り組み、更なる業績向上と企業価値の向上を目指す

2013年8月期通期トピックス①

SBYのつけまつげブランド「Diamond Lash」

▶2009年秋の発売から累計販売個数1,000万個、市場売上累計約100億円のつけまつげ業界TOPシェアブランド

つけまつげの市場規模は6年前の30億円弱から、3年前で約55億円、現在では100億円規模に成長。OLや主婦層にも拡大。

→ **取扱店舗が増加し、マーケット全体が拡大。OLや主婦層にも拡大**

～ 「Diamond Lash」 ～

つけまつげ業界初のテレビCMや雑誌等のマスメディアプロモーションと、BLOGやSNSなどのメディアを活用し、業界のTOPシェアまでになったブランド。現在では全国のドラッグストア、バラエティストア、大型量販店等の約8,000店舗に流通しています。



つけまつげの新ブランド「Purish」を2013年3月より発売開始

▶つけまつげ業界TOPシェアを誇るブランド「Diamond Lash」につづき、需要が伸びているOLや主婦層などの女性向けの新ブランド「Purish」を立ち上げ。

～ 4年連続でファッション雑誌販売部数1位の「sweet」との共同企画 ～

ファッション誌シェア率No.1を獲得する宝島社発行のファッション誌「sweet」において、「sweetコラボ Purish Eyelash×Fashion」をテーマに商品が紹介される。



2013年8月期通期トピックス②

コスメ総合ブランド「Diamond Beauty」



- ・ 40を超えるアイテムを企画販売
- ・ 新商品の開発とアジア展開を拡大
- ・ 台湾のほぼ全域で取扱店舗が100店舗を超える
- ・ シンガポール現地の大手チェーンドラッグストアを中心に約50店舗で展開。



モデルキャスティング、商品開発、流通開拓、パッケージデザイン、雑誌、テレビのメディア露出を実施

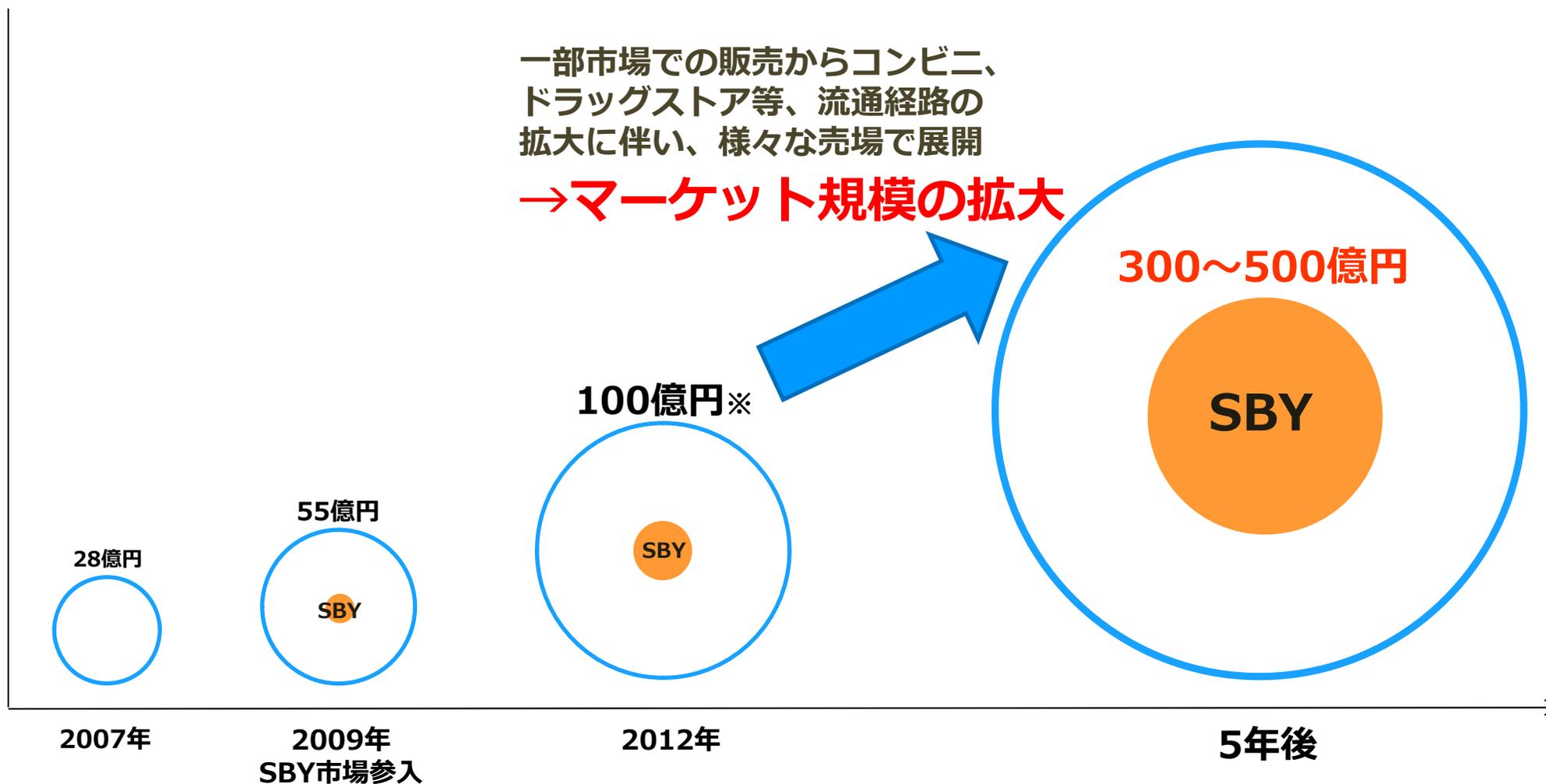


新商品
アイライナー



新商品
マスカラ

つけまつげ市場の動向



※2012年市場規模：富士経済調べ

2013年8月期通期トピックス③

SBY、株式会社サンクレストとiPhone5 向けアクセサリーブランド「iDress GIRLSi」に関する業務提携

- ▶スマートフォン市場が拡大傾向にある中で、高い開発技術能力と、高い営業力を保有するサンクレスト社と、ティーン層（～19歳）・F1層（20歳～34歳の女性）に対してのプロモーション・クリエイティブワークのノウハウを持つSBYが業務提携を行う事で、スマートフォン市場でのトップブランドを目指す。



～ 業務提携の内容 ～

商品の企画監修、広告宣伝計画の立案・実施、販売促進計画の立案・実施、トレンドマーケティング調査、コンセプトマーケティングショップSBYの店頭を活用した販売・プロモーション

SBY、東京ガールズコレクションを企画運営する株式会社F1メディアと業務提携

- ▶ F1層（20歳～34歳の女性）をターゲットとする両社が当該市場において競争力を相互に補完し、事業のさらなる発展を目指すことを目的とし業務提携契約を締結。

～ 業務提携の内容 ～

東京ガールズコレクションのコンセプトのもと、F1層（20歳～34歳の女性）市場を対象とした商品開発企画・海外展開を共同で行い、SBYがもつコンセプトマーケティングショップでの店頭販売及び独自流通ルートでの販売並びにプロモーションをSBYで行う。



2013年8月期通期トピックス④

キャラクターライセンスビジネスの開始

▶2012年度の市場規模が2兆3,075億円となるキャラクタービジネス市場へ進出。
第一弾として新キャラクター「カラプル」がデビュー。

～タイアッププロモーション～

- ①プリントシール業界最大手のフリー社とのタイアップを実施。最新プリントシール機にカラプル背景が登場。また、同社が持つ全国400万人のプリントシール会員向けアプリ「RUMOR fashion」にスタンプとして登場。
- ②イード社が運営する「プレイトイズ」のサイト内で、ドコモユーザー向けのAndroid用携帯アプリ（携帯の画面の着せ替えツール）をリリース。



calaple

カラプル

©2013 made in 5BY



今後の事業展開

SBYの事業規模・業容拡大

戦略的提携の実施

SBYの事業規模・業容拡大_ (ご参考) SBYの事業概要

SBYの最大の強みである、総合プロデュースを中心とした国内外の商標・著作物等の知的財産を開発、ライセンスし、様々なF1・F2層向けマーチャンダイジングやサービス分野へのトータルマーケティングを行うプロパティビジネスを展開。

マーチャンダイジング分野では、ビューティ&コスメ商材、サービス分野ではセールスプロモーション、流通等を自社ディレクション、あるいは企業様への使用許諾により、総合展開を図る。



SBYの事業規模・業容拡大

2013年8月期

SBYを中核事業とした確実な黒字体質を構築

- ▶ 新ブランド立ち上げ
- キャラクターライセンスビジネス開始
- ...



2014年8月期

SBYの事業規模をさらに拡大

- ① 既存店拡大・新規店舗出店（国内）
- ② 「WoMANiA 梅田オーパ店」への積極的な投資
- ③ 新ブランド立ち上げ・新商品開発
- ④ 女性向けの「美」と「健康」をテーマとした新業容
- ⑤ F1メディア社との協業（海外展開）

SBYの事業規模拡大_①SBYの既存店拡大・新規店舗出店（国内）

流行発信・マーケティングスペースとして、最先端都市「渋谷」に、アンテナショップとして「SBY」（SHIBUYA）を1日2～7万人集客ビル109に展開



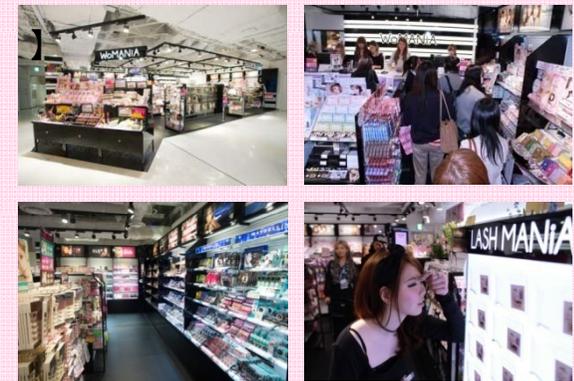
渋谷109店の増床 および 年度内に数店舗の出店を検討

SBYの事業規模拡大_② 「WoMANiA 梅田オーパ店」への投資

「SBY SHIBUYA109店」にIN SHOP形態で展開しているビューティコスメショップ「WoMANiA」が、2店舗目として「WoMANiA梅田オーパ店」をオープン。販促費・広告費を積極的に投資し、本店舗を関西エリアの基幹店へ。

WoMANiA ◆SBY運営のコスメショップ『WoMANiA (ウーマニア)』

- ・最新のビューティコスメ商材・カラーコンタクトを中心とした形態では初の店舗
- ・厚生労働省が認可を出すカラーコンタクトを販売するための資格（高度管理機器販売業）を取得済
- ・業界初のつけまつげ用テスター什器「LASH MANiA」を設置
※特許庁 実用新案登録済
- ・店内のデジタルサイネージで最新の情報を発信



今後は五大都市を中心に駅構内や駅周辺の商業施設へ多店舗展開。

幅広い年齢層をターゲットとする新ブランド・新製品群、流通分野の強化

<p>Diamond Beauty</p>
<p>〈ジャンル〉 化粧品 化粧雑貨</p>
<p>〈流通経路〉 SBY店舗 バラエティストア ドラッグストア 大型量販店 約8000店舗</p>
<p>〈メインターゲット〉 18歳～25歳</p>

<p>Purish</p>
<p>〈ジャンル〉 化粧品 化粧雑貨</p>
<p>〈流通経路〉 SBY店舗 バラエティストア 大型量販店</p>
<p>〈メインターゲット〉 27歳～33歳</p>

<p>新ブランド・新商品</p>
<p>〈ジャンル〉 生活用品 (ヘアケア・ボディケア) 化粧雑貨</p>
<p>〈メインターゲット〉 20代～50代</p>
<p>〈流通経路〉 SBY店舗 バラエティストア ドラッグストア 大型量販店 コンビニエンスストア</p>

ヘルスライフ事業開始

従来までのコスメ事業

	
<p>〈ジャンル〉 化粧品 化粧雑貨</p>	<p>〈ジャンル〉 化粧品 化粧雑貨</p>
<p>〈流通経路〉 SBY店舗 バラエティストア ドラッグストア 大型量販店 約8000店舗</p>	<p>〈流通経路〉 SBY店舗 バラエティストア 大型量販店</p>
<p>〈メインターゲット〉 18歳～25歳</p>	<p>〈メインターゲット〉 27歳～33歳</p>

新ブランド・新商品

〈ジャンル〉
生活用品
(ヘアケア・ボディケア)
化粧雑貨

〈メインターゲット〉
20代～50代

〈流通経路〉
SBY店舗
バラエティストア
ドラッグストア
大型量販店
コンビニエンスストア

ヘルスライフ事業

事業内容

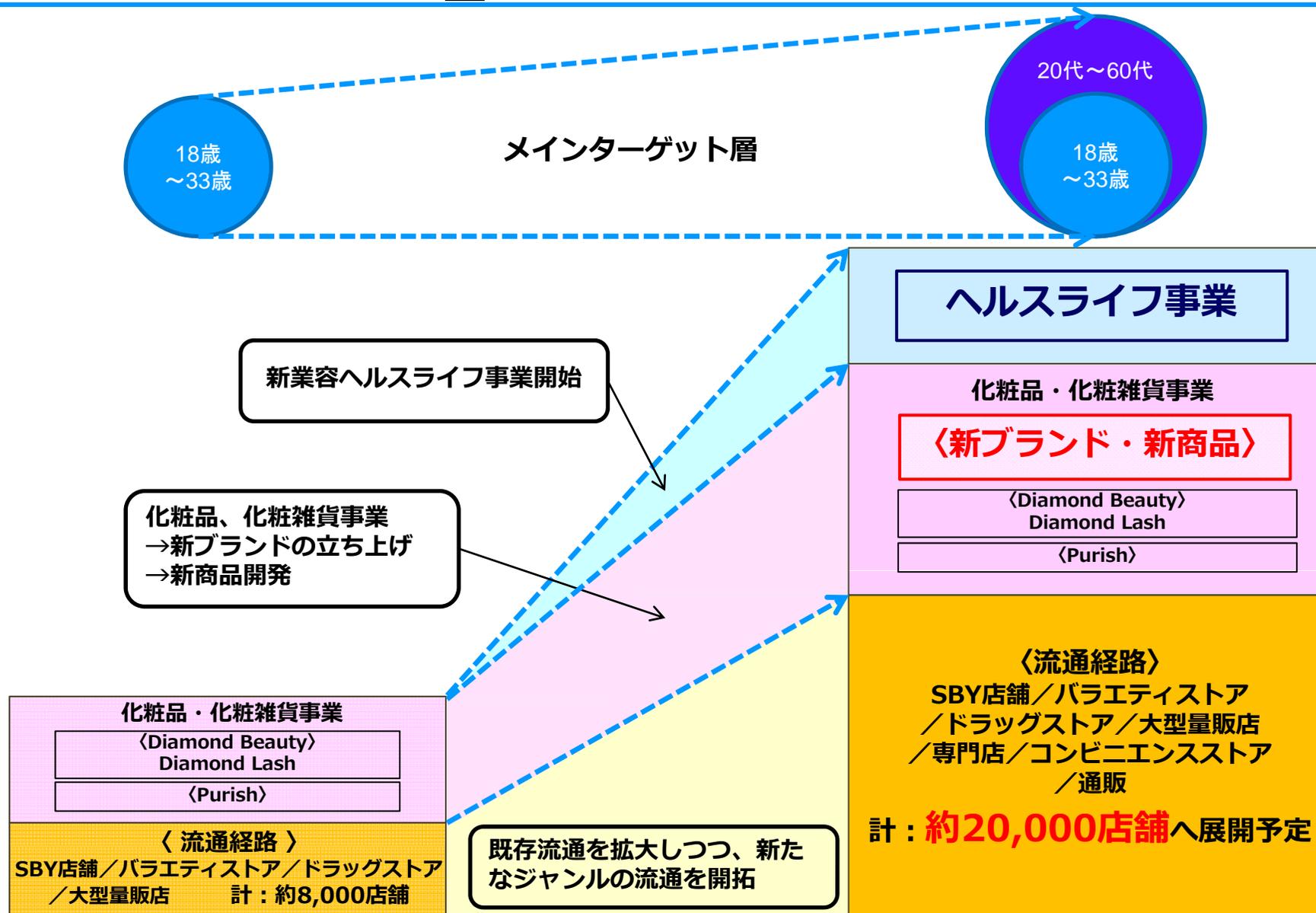
健康と美容に着目した
インナービューティ事業

〈ジャンル〉
健康食品
サプリメント

〈メインターゲット〉
20代～60代

〈流通経路〉
バラエティストア
ドラッグストア
大型量販店
専門店
EC通販

SBYの事業規模拡大_③④による事業拡大図



【現在】

P. 20

【今後】

SBYの事業規模拡大_⑤海外展開（F1メディア社との協業）

史上最大規模のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション」を企画運営するF1メディア社と協業し、東アジアを中心とする海外展開を実施。



日本のガールズカルチャーへの理解が深く、また世界のファッションブランドが凌ぎを削る地域である東南アジアは、経済発展とともにファッションに対する関心が高まっている。

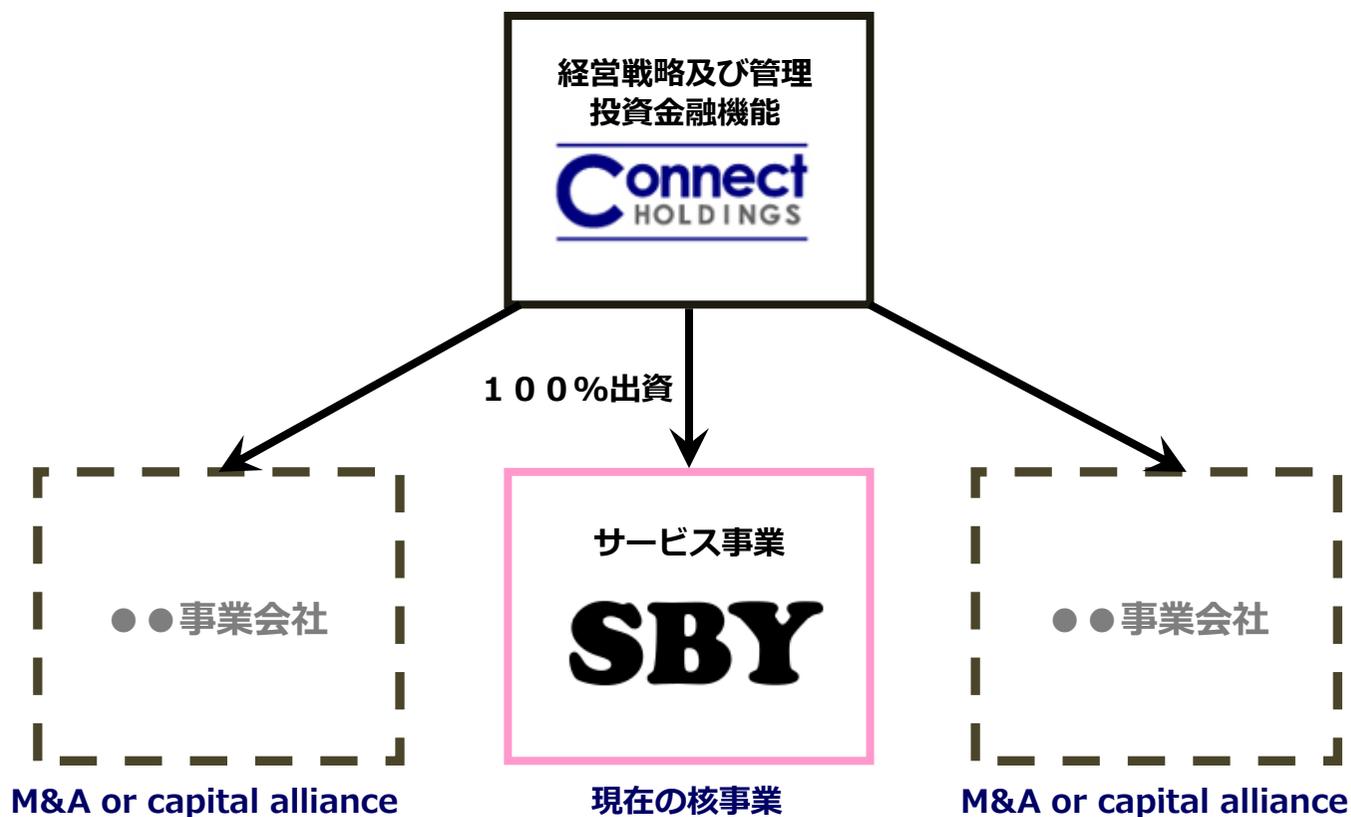
中国、香港、韓国、台湾、シンガポールなどの中から新規出店を検討



日本・海外、2つの成長エンジンで一層の事業拡大へ

戦略的提携の実施

- ・ SBYとシナジーがある企業に対してM&Aや資本提携を含む戦略的提携を推進
- ・ 他業容の企業に対してのM&A・資本提携も視野



2013年8月期（第3期）決算説明会の開催について

以下の通り、投資に関する説明会を開催いたしました。

○開催状況

開催日時	2013年10月29日（火曜日）15：30～16：40
開催方法	対面による実開催
開催場所	日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル分室 会議室 東京都中央区日本橋兜町3-3
説明対象	アナリスト、機関投資家
説明会資料名	平成25年8月期通期連結決算短信 【添付資料】 2013年8月期（第3期）通期決算補足資料